

# 郷土の歌『十市音頭』



## 運動会のなかで地区民に披露

ヤマモモの産地として知られる十市地区で、このほど「十市音頭」が完成し、九月二十八日の十市小学校運動会のなかで、地区民らに披露されました。

この十市音頭を作ったのは、作詩＝武市啓志さん（十市小浜・市役所勤務）と、作曲＝井上正彦さん（岡野町八幡・十市小学校教諭）の二人。

パークタウン計画や黒潮ラインなどによって、今後大きく変っていくとしている同地区には、数多くの特産物や文化財、伝説などがありますが、地元の人たちの間でも忘れられていたり、知られて

いないのが現状。これらを見直すとともに、後世にも伝えていきたいというのが製作のきっかけ。

歌を南国市出身（東崎）の歌手、野中ゆかりさんに、また振り付けを坂東都世浩さん（高知市介良）にお願いして、この日の披露となったものです。

当日は、かけつけてくれた野中ゆかりさんの歌に合わせて、四年、六年生の女子約五十人が十市音頭を披露、会場の地区民らから盛んな拍手がおくられました。

「十市の名物がたくさん盛り込まれているし、歌いやすい」「十市をこじやんとPRしてくれてい

### 十市音頭

1. 十市の南は太平洋  
浜じゃ 漁師のパッチ網  
とれるドロメは天下味  
一度はきてみい 十市には  
潮の満干で 水かさかわる  
不思議な 峰寺の岩がある
2. 十市の南は太平洋  
山じゃ 名物十市モモ  
とれる山モモ天下味  
一度きてみい 十市には  
奥のしれない 舞乳洞の  
不思議な 石土穴がある
3. 十市の南は太平洋  
山じゃ 名高い十市梨  
一生忘れぬ天下味  
一度はきてみい 十市には  
畠一畠の 大ナマズ住む  
不思議な 石土池がある
4. 十市の南は太平洋  
畑じゃ 苦勞のハウス作  
シントウ ビーマン天下味  
一度はきてみい 十市には  
厚い人情と 琴平様が  
不思議な 力をよびおこす

るのでとてもよい」「ええ歌を作ってくれたのう」と地区民らにも好評。

地区では、札幌の十市中央園芸組合の放送で毎日、午前十一時三十分と午後三時の二回、十市音頭を流し地区民へのPRも進めています。完成した「郷土の歌」によって、来年夏の盆おどりはいっそう楽しいものになることでしょう。

## 教育相談余話⑤

### むだ使いをする子ども

南国市教育相談所 高石文一

赤い車を乗りつけて来た。色彩の豊かなお母さんであるのに、室内の空気は何か暗くなる。

「四年の男の子です。母親の財布

からお金を持ち出して困ります。」「どんな使い方をしていますか。」「お菓子を買って友達と食べたり、インベンダーゲーム遊びなどして

むだ使いをしているようです。この間、二万円持ち出し友達三人とタクシーに乗って高知へ行き、デパートの屋上でいろいろなゲームを

して遊んだり物を買って食べたりして、帰ってきたときには五百円しか残っていませんでした。」「家でもほうっておくわけでもなく、この間も「ごはんも食べさせ、家にもおかん」と言ってきたことに注意しました。しばらくしないと、また同じようなことをします。

私も、一人の子のために朝早くから夕方遅くまで販売や集金

たいという気持ち、それが満たされない「不満」の心の穴埋めをするためにむだ使いをします。

五歳頃までなら、お母さんがその事を知って、仕事はやめなくても何とか工夫して子どもに接する時間をとってもらうことで改善されます。しかし、小学校に入る頃になるとそう簡単にはいかないと

方が発達は遅れて、まだ四歳くらいのところにとまっけていると考えねばなりません。十歳の子でもこのようなことをすると思うと腹が立ちます。けれど、お金の使い方については四歳くらいの子とも

「学校参観日に主任の先生から、近頃大変おちつきがでるようになってきた。よく予習しており、時間中の活動も活発になったと言われました」とのこと。

「あつ、そうでした。すみませんでした。」「その日からお母さんの態度が変わった。心のなかに大きな変化があったはずである。子どもはお母さんの口で教えることをおぼえて成長はしていない。お母さんのすることをまねて大きくなっている。そうと気づいたお母さんは、

「大変良い子になっています。クラスでもリーダー格の活動ができています。子どもは変わるものですね。」と……変わるものは決して子どもだけではないですね。

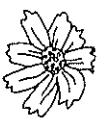
もともと、このようなことは生まれつきするものではないとありませぬ。また、ある日突然するといふようなものでもなく、それほどでなくてもこれに似た事は必ずしているものです。お使いに行つて、おつりを返さずお菓子などを買ったことはありませんか。」「一年生になった頃、ぼつぼつありました。」「もつと前の保育の頃にあったかもしれない。保育の頃、自分で買物をすることを教えた時、おつりをきちんとすることを教えたはずです。ところが、たびたびのことです。お母さんが忙しくておつりのことを聞くことがなかった。それがたびたびあつて、うちに、残りのお金で自分のほしいものを買ってみる。同じように買える。お母さんにいちいち相談しなくても、お金さえあれば何でも

でしまったのです。ほかのことは順調に成長したが、お金の使い方についての考え方の発達は遅れて、まだ四歳くらいのところにとまっけていると考えねばなりません。十歳の子でもこのようなことをすると思うと腹が立ちます。けれど、お金の使い方については四歳くらいの子とも

「昨日、一家がそろってデパートに買い物に行きました。帰りにデパートを出てから、便所に紙に包んだお金落ちていた、といつて子どもが三千元出しました。」「今、今日学校から電話があつて、胸のポケットに千円札をはさんでいたが今日は学校では集金もないがお金を持たせましたかとのこと。帰つてからどうした千円かとおたずねすると、実は昨日拾つたのは四千円で三千元渡して千円を持っていったとのこと。私はもう腹がたつて、腹がたつて……もうこんな子は家におかんとおこつたり泣いたりしてきたところですよ。」「お母さん、残念なことをしましたね。せつかく、お金を拾つたときどうするかを教える絶好の場ができたのに。」「デパートを出るとすぐ近くに交

番があります。そこへ子どもを連れて行って届けさせる。そうして、お金を拾つたときどうするか、体験させて身につけさせるよい機会でしたのに。」「お母さん、その三千元はどうしましたか。」「あつ、そうでした。すみませんでした。」「その日からお母さんの態度が変わった。心のなかに大きな変化があったはずである。子どもはお母さんの口で教えることをおぼえて成長はしていない。お母さんのすることをまねて大きくなっている。そうと気づいたお母さんは、

「大変良い子になっています。クラスでもリーダー格の活動ができています。子どもは変わるものですね。」と……変わるものは決して子どもだけではないですね。



### 大篠女学院

#### バザー

とき 11月29日(土) 30日(日) 10時～4時30分まで

ところ 市立中央公民館(市民体育館隣)

内容 和洋編物、小物、セーター、カーディガンなどの展示販売とおでん、うどんの軽食コーナー。

※市民のみなさんのおいでをお待ちしています。

### 保育・調理師を募集

乳児のよりよい保育をめざしている共同保育所「コスモス」では、保育士さん、調理師さんを若干名募集しています。

コスモスの運動に共鳴する方、乳児保育に情熱をもっている方ならどなたでも結構です。

労働条件などは面談のうえ決定します。

※問い合わせ先：共同保育所コスモス(東崎) ☎5788まで。

